

平成27年度 山梨県地域活性化協働事業費補助金 取り組み事例集



平成28年8月

山梨県

平成27年度 山梨県地域活性化協働事業費補助金 取組事例一覧表

番号	団 体 名	事 業 名	頁
1	一般社団法人 甲府青年会議所	山の都地方創生フォーラム2015	2
2	いなか体験工房Country SpiceFactory	暮らすように旅する♪山梨移住のススメ	5
3	特定非営利活動法人 富士川・夢・未来	峡南地域における企業と農山村のふるさと 交流促進事業	9
4	特定非営利活動法人 山梨県キャリアコンサルティング協会	生活困窮者等の子どもに対する学習支援・ 運動支援事業	13
5	和服を着て街に出ようプロジェクト	和服を着て街に出ようプロジェクト	16
6	子どもの権利擁護プロジェクト こどもサポートやまなし	みんなで創る未来まちづくり事業	19
7	繭の森プロジェクト	繭の森プロジェクト2016	23
8	特定非営利活動法人 甲じゃん会	卸売市場活性化からふるさと山梨の活性化 へ	27
9	リズムオブラブ	ふるさと山梨の生活安全をE y e ∞愛でつ なぐ!	31

【資料】

山梨県地域活性化協働事業費補助金交付要綱・・・・・・・・・・・・・・ 34

団体名	一般社団法人甲府青年会議所
代表者名	藤巻 宏和
所在地	山梨県甲府市相生二丁目2番17号 甲府商工会議所会館3階

1. 事業名	山の都地方創生フォーラム2015
2. 実施期間	平成27年10月31日
3. 補助金額	1,000,000円
4. 協働のパートナー	甲府市役所商工課商店街活性化係、NPO法人甲府駅北口まちづくり委員会、よりみちアート
5. 事業概要	<p>・地域で活動する光り輝く人財を発掘し、地域の明日につなぐことのできる活動を称え、地域力大賞2015を開催しました。</p> <p>「大賞受賞者 株式会社 桑郷 ハン・ソンミンさん」</p>  <p>・やまなし大使萩原智子氏、スーパーやまと社長小林久社長、長谷川空手スクール長谷川伸一氏をパネリストとして、入倉要氏をコーディネーターとして招き、「人の可能性と地域の可能性」をテーマにディスカッションを開催しました。</p> <p>・宝石ブース、ワールドアートフェスティバルなど、地域の伝統文化や芸術を価値ある魅力として地域に発信をおこなうエリアを設置しました。</p> <p>・甲府中心街飲食店8店舗、山梨県内各地青年会議所お勧め飲食店7店舗に出店していただき、山梨の豊かな気候風土で生まれた地域資源を活用した食を郷土の魅力として地域に発信をおこなうエリアを設置しました。</p>



・よりみちアートによる路上アートやフリーマーケットなど子供から大人が芸術や環境を学びながら交流することができる交流エリアを設置しました。



・会場を盛り上げるため、ステージを設置し山梨県で活躍するアーティスト等によるライブをおこないました。

<出演者>

大鎌田保育園、光の森こども園、富士桜学苑による鼓笛隊、太鼓の演奏
 愛田杏奈氏、YURIKA氏によるステージライブ
 福嶋孝頭氏による三味線演奏など

<p>6. 事業成果</p>	<p>山梨の「ひと」「食」「芸術」「夢」「環境」を織り交ぜ山梨の魅力を発信することで、地域の明日を創り出す活力とすることができました。</p> <p>地域力大賞2015では、魅力ある活動を広く発信することで、まちづくりの魅力や山梨の新しい魅力を知っていただくことができました。</p> <p>「人の可能性と地域の可能性」をテーマにディスカッションをおこない、地域の魅力を活かしたまちづくりを広い目線から感じることができ、人の魅力、活動の魅力を楽しみながらまちづくりの魅力を学んでいただくことができました。</p> <p>来場者に記入していただいたアンケート結果からも、地域の魅力ある活動を知ること、地域に関心を持っていただくことができ、地域愛へつながったことがわかりました。</p> <p>山梨県のために活動している方や活躍している方たちの魅力をひとつの場所にまとめ、甲府市役所商工課商店街活性化係やよりみちアート、北口まちづくり委員会の方などと協働して発信することでより広く地域に発信することができ、沢山の活動を伝えることができました。</p>
<p>7. 課題</p>	<p>各種団体の活動の目的が違うことから、継続して協働していくことの大変さと難しさを知ることができました。</p> <p>今後は、団体同士の目的をしっかりとつなげていき、地域発展のために、協働して活動していけるまちづくり活動を拡げていきたいと考えています。</p>
<p>8. 今後の展開</p>	<p>今回協働してくださった方たちとは、今後も地域のために協働して活動していきます。魅力ある活動を発信する場として多くの方や団体の活動を地域に伝えていくために、今後も県内の魅力を募り地域に伝えていける場を地域住民の方たちと協働して創出していきたいと考えています。</p>
<p>9. 補助制度に対する意見・感想</p>	<p>地域活性化のためには、各種団体が協働して活動していくことが、必要なことだと思います。</p> <p>今後もこのような補助金制度は、続けていただきたいと思っています。</p>

★ 団体紹介 ★

戦後の焦土と混乱のなか志高き 17名の青年が集い、甲府青年会議所は 1951年に日本で 13番目の青年会議所として誕生しました。

創設 60周年を迎えた 2011年には長年にわたる議論の末、「一般社団法人」を取得し、新たな時代を歩み始めました。現在、約 110名の会員数を誇り日本でも有数の青年会議所として活動を続けています。

青年会議所の三信条である【修練】、【奉仕】、【友情】、を胸に『明るい豊かな社会』の実現を目指し地域に根ざした活動を行なっています。

ホームページ <http://www.kofujc.com/>

団体名	いなか体験工房 CountrySpiceFactory
代表者名	鶴岡舞子
所在地	山梨県甲州市塩山竹森1725-1

1. 事業名	暮らすように旅する♪山梨移住のススメ
2. 実施期間	平成27年7月～平成28年2月
3. 補助金額	826,000円
4. 協働のパートナー	ABCホームズ 摘み草のお店つちころび 塩の山ファーム 甲州市政策秘書課
5. 事業概要	<p>協働各団体の役割分担について</p> <p>本事業では、①不動産と旅行業 ②野草という独自の地域おこし素材と、移住者交流コミュニティ ③農業体験という3つの専門分野＋行政の後方支援という構図で協働を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者への個別相談、ツアー企画、住居斡旋（ABCホームズ） ・野草という新たな地域おこし素材を取り入れることで、新しい甲州の魅力の発信と、県内移住者交流コミュニティによる、移住、新規就農者へのフォロー、ネットワーク作り。（摘み草のお店つちころび） ・農業体験の場の提供・企画・運営。（塩の山ファーム） ・企画運営が県外移住の女性で構成されていることで、周囲の女性のチャレンジ精神の向上と、子育て世代へのアプローチをかけ、県外に目線を合わせた山梨暮らしの魅力の発信とイメージをUPさせる。 ・個人活動だけでは得られにくい必要な情報や人脈を的確に紹介し、移住希望者の期待度を損ねないサービスを検討・提供できる。（甲州市政策秘書課） <p>地域、住民、行政の三位一体の観光、交流だけに留まらない、多角的かつ多様なケースに対応できるための、試みの事業。魅力ある山梨、移住したい県No.1の座を維持していく為にも、協働し取り組む姿勢と実践的かつ有効な効果を生む為の活動を進めていく必要性がある。</p>

1、野良遊びワークショップ（7月～2月）

農業体験を主軸とした交流による都市部住民に向けた、移住および定住啓発事業を実施した。（参加者のべ63名）

【年間を通じたワークショップ】

- ① ジャガイモ堀体験と野草酵素作り（7月）
- ② 夏野菜とねこじゃらしの収穫体験と減農薬巨峰のジャム作り体験（8月）
- ③ 塩山ミニフットパスと野草チンキ作り体験（9月）
- ④ 枯露柿の里松里散歩と枯露柿作り体験（11月）
- ⑤ 麵から作るほうとう作り体験とミニワインセミナー&冬の果物ゆずジャム作り（12月）
- ⑥ 甲州味噌づくり体験と枯露柿の里松里交流会（2月）





2、ころ柿づくり体験教室（11月）

山梨名物ころ柿を、首都圏の若年層にPRし、今後の農産物振興となる体験教室を開催した。（参加者41名）

場所：東京都 青山farmer's market内にてブース出店。

内容：一人6個分の柿を体験後、お持ち帰りいただいた。



3、移住者シンポジウム（2月）

県内各地で活躍されている6名の移住者と、県内各市町村の移住促進関係担当窓口行政職員による「こみゅっとcafé」を実施。県内全域から、農業を基盤に活躍している若い移住者による、自らが移住者としての経験を元にした事例発表。

独自に実施した、県内全市町村の移住担当窓口へのアンケート回答を元に、先住移住者のディスカッションと全員参加型の意見交換を実施。それぞれの立場からの感じた事、実践していることの摺り合わせを行った。（参加者約70名）



6. 事業成果

野良遊びワークショップでの参加者は延べ63名。リピーターは全体の8割ほどだった。本企画以外の峡東エリアで実施されたツアーの参加や市内の旅館に宿泊された方もいたことから、目的であった地域への「ファン」を作ることができたと言える。

	<p>メディアにも取り上げられたことから、県内での活動の周知・認知度は高まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年5月2日（山梨日日新聞） ・2016年3月峡東CATV（2月松里公民館でのころ柿交流会の様子） ・2016年3月26日（山梨日日新聞）  <p>甲州市のグリーンツーリズム協議会への参加、参画の声が掛かった。女性主体の活動を1年展開したコンセプトに魅力を感じてもらった。山梨ならではの形の一つとして、移住者、女性の活躍をPRできるよう、尽力したい。</p> <p>山梨暮らし支援センターからの申込者もあったことから、任意団体であってもバックボーンとして助成金活動であることで、顧客からの信頼を得ることができ、山梨暮らしのイメージアップと、発信に貢献できた。</p> <p>移住促進が地方創生の活動と取りざたされている今日、県・市町村の行政職員が現場意識をどのように持っているのか、こみゅっとカフェでは、普段なら行政主導の移住促進フェアになることが多い中、市民団体から声をかけ行政職員向けの研修に近い場を設けたことは、今までにない新しい協働や、歩み寄りを生む取り組みになったのではと思う。実際の声を独自に発信できたことが大いに成果を感じる。</p>
<p>7. 課題</p>	<p>実施回数も多く、幅広い課題に取り組んだ事業だったので、報告書の作成が大変だった。魅力あるプログラムであっても開催日や季節によって、申し込み人数のバラつきが生じた。実施回数と開催時期の調整が課題だ。</p> <p>行政との協働における役割分担や、協働意識の調整にハードルを感じた。</p>
<p>8. 今後の展開</p>	<p>小さい団体や個人での活動ではカバーしきれない、移住希望ニーズの多様さと展開の幅から、来年度はABCホームズが取得した、地域限定旅行業の事業部の一つとして協働を図り、観光要素を強めたCountrySpiceFactoryの活動を継続する。</p> <p>また、メンバーが独自に市外で同様のプログラムの展開を見込んでおり、モデルケースとして広がりが見える。</p>
<p>9. 補助制度に対する意見・感想</p>	<p>おかげさまで良いスタートができた。実務に従事している運営側に補助費目を拡大できれば協働や、地域活性の実効性を上げることが期待できると思う。</p>

★ 団体紹介 ★

甲州、山梨市に移住してきた女性3名で構成している『いなか体験工房 CountrySpiceFactory』は、移住者の目線で地域の面白い！良い！と感じた魅力的な Spice を集めて、地域の魅力を発信したいという思いで、農的な切り口から、通年を通してツーリズム的要素を含んだ企画をしています。首都圏の女性を対象に「山梨のファン」作りに尽力しています。

【facebook ページ】

<https://www.facebook.com/Country-SPICE-Factory-1436736359974439/>



地域活性化協働事業費補助金 取組事例

団体名	特定非営利活動法人富士川・夢・未来
代表者名	理事長 長澤 利久
所在地	山梨県南巨摩郡富士川町鯉沢1085-1

1. 事業名	峡南地域における企業と農山村のふるさと交流促進事業
2. 実施期間	平成27年7月～平成28年3月
3. 補助金額	485,000円
4. 協働のパートナー	山梨県農政部担い手対策室

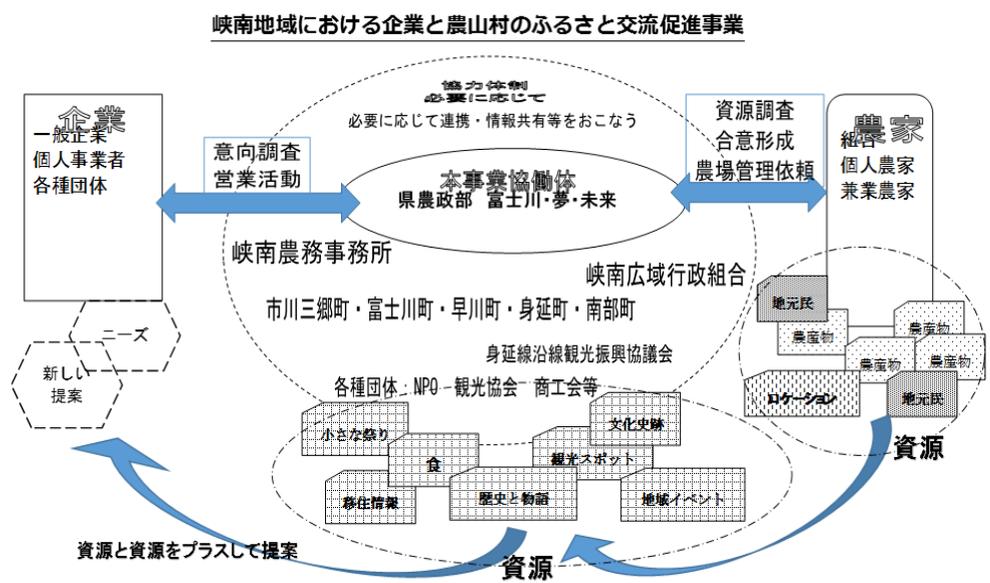
5. 事業概要

地域農業資源の整理をおこない、どのような資源が活用できるかリスト化を実施し、企業が求める事業プランを作成する。

サイトやチラシを制作、県が設置する「企業ふるさと交流クラブ」、「首都圏増穂・鯉沢会」、富士川・夢・未来の会員、その他関係団体等へ呼びかけ、交流する企業を募集する。

農業資源活用に向けた受け入れ農家の確保と、農家への指導を実施しさらなる魅力づくりを進める。

この事業においては、山梨県農政部担い手対策室を協働体とするが、その他、峡南農務事務所・峡南広域行政組合・身延線沿線観光振興協議会・各種団体・NPO・峡南5町（市川三郷町・富士川町・早川町・身延町・南部町）各商工会・観光協会、地域事業者などとも協力体制をとり、事業実施をおこなう。



6. 事業成果

・農村における農村地域資源の実態調査

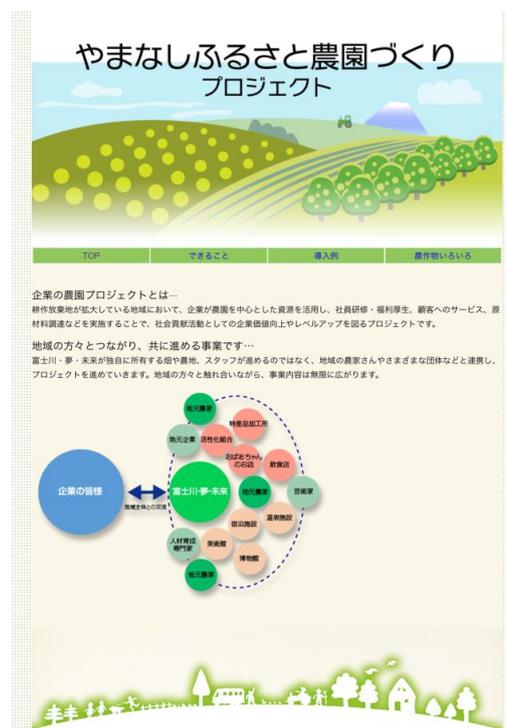
企業参入プランの作成のため、峡南地域において、農村資源の調査をおこない、峡南地域(市川三郷町・富士川町・早川町・身延町・南部町)内の12団体の農業団体の状況を把握し、リスト化を行った。

・サンプル農地の確保と農産物の生産

耕作放棄地を確保し、商品として作付した。

- 身延町相又レクラみのぶ農地：曙大豆枝豆作付け
- 富士川町矢川地区水田：こしひかり作付け
- 富士川町小室地区農地：やくも大豆作付け
- 富士川町小室地区農地：ゆずの木オーナー確保

・企業参入プランを作成し、インターネットでの企業の農園サイト開設による企業誘致活動を実施した。



・農作業体験会の実施

農園にて、収穫体験・観光を組み合わせたツアーを実施した。

H27. 10. 17 身延町相又地区レクラみのぶ管理圃場にて

萬屋醸造店社員役員向けツアー実施



H27. 10. 19 富士川町小室地区日出づる里活性化組合管理圃場にて
特定非営利活動法人 EGAO：ひまわり工房利用者向けツアー実施



H27. 11. 28 富士川町小室地区日出づる里活性化組合圃場にて
池田商店社員家族対象ゆず収穫体験ツアー実施



・ 峡南地域における農園活用に向けた戦略会議の開催

参加者：山梨県農政部担い手対策室職員・山梨県峡南農務事務所職員・富士川町役場農林振興課職員・日出づる里活性化組合メンバー・北杜市の農業団体・富士川・夢・未来

内 容：現状の活動状況の報告をおこなう形での情報交換と、今後のメニューづくりを協議

山梨県が実施している農業支援の紹介、他地域：北杜市の農業団体が実施している事業内容を紹介。

今後の予定：富士川・夢・未来が実施している本事業について情報を共有するとともに、来年度以降、横の連携として農政部担い手対策室・峡南農務事務所・富士川町農林振興課・富士川・夢・未来がつながり、地域の農業団体への支援を検討していくこととなった。

<p>7. 課 題</p>	<p>農産物の生産には、当たり前ながら天候に大きく収穫量や品質が左右される。そのため、企業との契約を結ぶにあたっての最低保証ライン等の設定が難しい。</p> <p>峡南地域には大規模な集積農地が少なく、中山間地の難し立地にある農地のほうが格段に多い。そのため、事業化できるほどの収入を得るための何かを検討しなければならない。農産部においても、特色ある農産物を生産しなければ、都会からより近い田舎や、北海道などの魅力ある地域に顧客が流れていってしまう。</p>
<p>8. 今後の展開</p>	<p>各地の資源を使った具体的なプラン作り、生産者の横のつながり強化に向けた取り組みを実施する。同時に県が実施する耕作放棄地活用・企業の農園づくりモニターツアーや、各種ツール（HP、チラシ、別添プレゼン資料）等を活用し、企業へ提案していく。</p> <p>富士川町ふるさと納税の商品として、各地の農業団体が生産している商品をお礼品として導入する支援を実施し、知名度のアップを図る。</p>
<p>9. 補助制度に対するの意見・感想</p>	<p>地域の活性化にはどうしても資金的なものが必要になり、NPOと行政が連携するにも予算の確保となると、多くの手間が必要となるのが現状である。しかしこの補助制度は、申請から採択までのスパンが短い上に、行政と連携しての事業を年度初めからの企画で実施できるところがNPO等の活動に有益であると考えます。NPOの活動と聞くとどうしても、無償の活動等が多いのが現状だが、地域経済活動の活性化にも活用でき、今後とも展開が望まれる。</p>

★ 団 体 紹 介 ★

特定非営利活動法人・富士川・夢・未来は歴史と文化あふれる富士川沿いに位置する峡南地域（市川三郷町・富士川町・早川町・身延町・南部町）の活性化をめざす中間支援組織として活動しています。

地域力の向上を目指した主な活動

- 地域資源を発掘、データベース化
- 特色ある農・商・工・グルメ・文化・歴史など地域内ネットワークの構築
- ホームページ、季刊誌による地域情報の受発信
- 農商工連携の新しい観光資源づくり
- 各種イベントの開催やお手伝い
- 地域特産品等のご案内

団体名	特定非営利活動法人 山梨県キャリアコンサルティング協会
代表者名	伊藤 洋
所在地	山梨県中央市若宮49-7

1. 事業名	生活困窮者等の子どもに対する学習支援・運動支援事業
2. 実施期間	平成27年7月～平成28年3月
3. 補助金額	876,000円
4. 協働のパートナー	富士吉田市福祉課・中央市福祉課・山梨県桃の会
5. 事業概要	<p>教員OB、大学生等と連携し、生活困窮者の児童・生徒だけでなく、不登校者、ひきこもりやニートに対する学習支援、キャリア教育を行い、高校卒業認定、大学進学、職業的自立を目的とした学習支援事業を中央市で実施することで、生活困窮者等を感じる子育てや子どもの将来に対する不安感を軽減する。</p> <p>教師が児童・学生を指導するスタイルでなく、大学院修了者が高校生を、大学生が中学生を、高校生が小学生を教えるというように利用者が相互に教え合い学び合う仲間同士のコミュニティの場を提供する「集合型」サービスにおける学習支援プログラムである。集合型サービスを取り入れる由としては、コミュニティの中での学習が利用者にとって有効である旨、先行研究等で明らかになっていることが挙げられる。そこで、本事業ではコミュニティの形成による利用者の「居場所」の機能も持たせるためのプログラムとする。</p>
6. 事業成果	<p>利用実績：のべ人数 124名</p> <p>利用状況：富士吉田市の広報誌を見て来所した小学生が週1～2回、定期的に通っている等、少しずつ地域に根付き始めてきている。</p> <p>学習支援ボランティア：都留文科大学生の学習支援ボランティアが主に学習支援を行った。他に山梨学院大学、山梨英和大学等からの学生ボランティア希望者もある。また、一般のボランティア希望者（男性、女性各1名）も理数系および英語の学習支援を行っていただいた。</p>



<学習風景>

新聞等で大きく取り上げられたこともあり、年度末に開催した事業報告会には県内の市町村福祉関係者等が40名近く参加していただき、翌年度に県内で同様の学習支援事業が新規開催されることにつながった。



< 新聞記事 >



< 事業報告会 >

<p>7. 課 題</p>	<p>生活困窮家庭の子弟か否かの判断を行うことが出来ない。生活困窮家庭に、学習支援サービスのあることを周知することの難しさを感じた。市町村の福祉課や社会協議会等との連携だけでなく、教育委員会や学校との連携の必要性を感じた。</p> <p>学習支援サービスを行うのは民間で運営できるが、広報周知は行政のネットワークによると感じた。</p>
<p>8. 今後の展開</p>	<p>継続支援が重要であるので、今年度より規模は縮小しても継続的に学習支援の場を提供していく。行政との連携を深め、特に広報周知の部分は行政責任であることを理解していただき、支援対象者の拡充に努めたい。</p>
<p>9. 補助制度に対しての 意見・感想</p>	<p>市町村と協働することが求められる補助金であるため、必然的に市町村と事業打合せや定期報告会で親密な関係を構築することにつながった。事業成果や事業課題を共有できたことが、市町村独自の事業企画や事業予算計上につながったと考える。</p>

★ 団 体 紹 介 ★

組織概要

名 称：山梨県キャリアコンサルティング協会

設立年月日：平成 16 年 2 月 7 日

所 在 地：〒409-3803 山梨県中央市若宮 49-7 電話 055-274-7722

理 念：「就業するすべての人が豊かで実りある人生を歩める社会をつくる」

ビジョン

- ・一人ひとりが自分の働き方や生き方を考え、人生の目標をもって働ける社会をめざします。
- ・より充実した人生を歩めるよう、個人・組織・社会が一体となって支えあう社会をめざします。
- ・キャリアを意識して、組織・社会・国のさらなる成長と発展が持続していく社会をめざします。

事業内容

本協会では、企業で働く人々の職業・生活全体を通じて、問題解決や意思決定を支援するほか、昇進・昇格・移動など、組織の中での変化や節目などに起こるような悩みにも対応できるキャリアコンサルティングを目指します。

企業内での環境の変化へ対応していく時には、いろいろな悩みや問題に直面することも少なくなく、そのような節目にキャリアコンサルティングにより、自分自身を整理する、自分が納得できる道を選択をする、自分の生き方を変えていく、など悩みや課題に前向きに対応していく上での支援を行っていきます。

地域活性化協働事業費補助金 取組事例

団体名	和服を着て街に出ようプロジェクト
代表者名	飯野洋光
所在地	甲府市酒折1-14-3

1. 事業名	和服を着て街に出ようプロジェクト
2. 実施期間	平成27年11月～平成28年1月
3. 補助金額	368,000円
4. 協働のパートナー	甲府市産業部産業振興室商工課・甲府商工会議所・甲府市銀座通り商店街協同組合
5. 事業概要	<p>日本が世界に誇れる民族衣装である和服は日本の伝統文化として長きに渡り受け継がれ、最近では世界中から注目されているが、和服の生活文化は近代化と共に洋服中心の生活が定着して、特別の行事以外は着る機会が少なくなった。</p> <p>そこで、各家庭の箆箆に眠ったままの和服を着て街に出る機会を企画して、和装での散策を楽しみ商店街の活性化につなげると共に、和服文化の素晴らしさを日常生活化して豊かな生活文化を共有する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台設営：甲府市銀座通りアーケード街に10mの欄干橋と両サイドに茶室を設けて全体を和風空間に設営し、和服姿での来場者が楽しめる会場づくりを行う。また、会場では箏曲の演奏及び抹茶と和菓子の提供により来場者をもてなす。 ・和服コンテスト：来場者から参加者を募り和服コンテストを実施する。 ・桜座ライブ：会場に隣接するライブハウスで和風演奏会を開催する。 ・交流集会：和服愛好会との交流集会を実施する。
6. 事業成果	<p>欄干橋、茶室等の舞台設営を活用した箏曲演奏及び江戸千家による抹茶と和菓子の提供は注目を集め、約150名の方に非日常の日本文化を楽しんで頂いた。</p> <p>また、和服ファッションショーには30組の参加があり、特に好評であった12名には和装景品を授与することで、和装の世界を楽しんでもらうと共に、和服文化の普及発展に努めることができた。</p>



山梨県立大学箏曲部演奏会



抹茶と和菓子の提供



和服ファッションショー



受賞者景品授与

夕方からは会場隣接の桜座（ライブハウス）にて津軽三味線奏者の福嶋孝顕氏と虎馬龍バンドによる和風演奏会を開催した。約50名の方に参加して頂き、1日を通じて和服文化と音楽を楽しむ機会を提供することができた。



津軽三味線福嶋孝顕演奏



虎馬龍演奏



山梨日日新聞H27. 11. 16



朝日新聞H27. 11. 16

協働団体には次の役割を担って頂いた。

- ・甲府市産業振興室商工課：市民への情報支援

	<ul style="list-style-type: none"> ・甲府商工会議所：商店街の支援、和服業界へのチラシ配布、式典来賓及び審査員 ・甲府市銀座通り商店街：情報支援、会場協力、式典来賓及び審査員 <p>その後、和服愛好会との交流集会を1月31日に実施し、意見交換を行った。</p>
7. 課 題	<p>多くの方が和服文化の良さを知りながら、自宅にある着物を装う機会がまだまだ少ないことから、和服を着て街に出て楽しめる企画で年間を通して商店街との連携を増やしていく必要がある。</p>
8. 今後の展開	<p>今後は、甲府中心街の街づくり、地域づくりの活性化を含めて和服文化が日常的に楽しめる様な街並みの装いや、古き良き甲府小江戸の街なみを実現させる企画を提案し、人の賑わいと共に商店街の活性化を増進させていく。街に人の行き来が益々生まれ、それに伴い和装文化を共有する人が増えて関連産業振興の発展に繋がっていくようにしたい。</p>
9. 補助制度に対しての意見・感想	<p>企画活動に対し助成制度が有る事は大変有意義な制度であり有難いことだが、多くの行動的な若者が企画実現出来る様に自己負担額は低額で6割程度の助成が出来るとう良い。</p>

★ 団 体 紹 介 ★

県内の和服愛好家による「和服を着て街に出ようプロジェクト」は、日本の伝統文化である和服を着て街に出る機会を企画し、和装での散策を楽しみ商店街の活性化につなげると共に、和服文化の素晴らしさを日常生活化して豊かな生活文化を共有することを目的として活動しています。